

2026年5月7日  
株式会社SVPジャパン

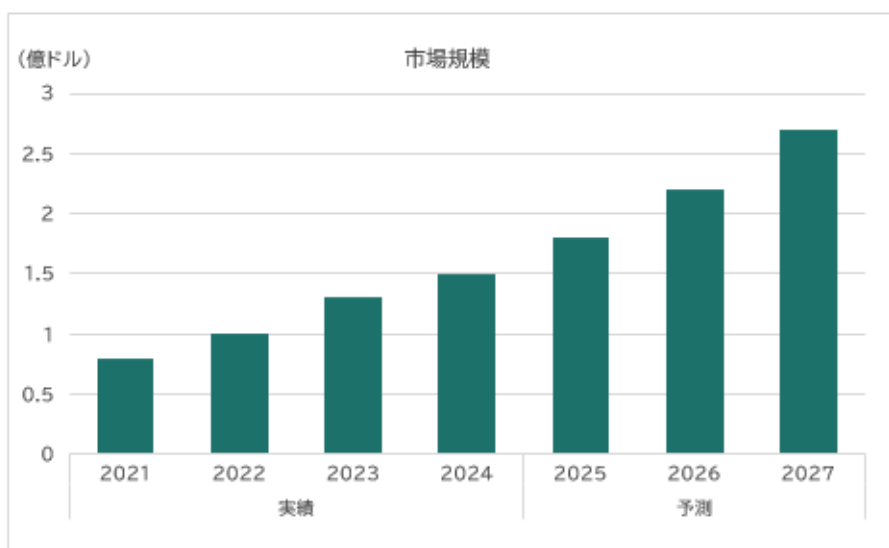
## SVP注目市場分析 「マテリアルズ・インフォマティクス」を公開

～材料開発を革新するAI活用基盤として産業実装が加速～



会員制マーケットリサーチサービスを提供している、株式会社SVPジャパン（本社：東京都中央区、代表取締役社長：橋本 雅、以下「SVPジャパン」）は、本日、SVP注目市場分析レポート「マテリアルズ・インフォマティクス-世界市場の現状と将来展望-」を、会員企業向けに公開いたしました。

### ■ マテリアルズ・インフォマティクスの世界市場



マテリアルズ・インフォマティクス（MI）とは、材料探索・配合最適化・特性予測などの研究開発プロセスを高度化するために、AI・機械学習・データ基盤・シミュレーション・自動実験などを統合的に活用する産業特化型AI領域である。従来10年以上を要した材料開発を大幅に短縮できる点で注目を集めており、世界市場は2021年から2027年にかけて約3倍に拡大する見込みとなっている。さらに、生成AIによる材料設計や自律実験の進展、企業のR&Dデジタル化、脱炭素需要の高まりが相互に作用し、市場は指数関数的な成長局面へと移行しつつある。その中でも、生成AIによるインバース設計、自律実験（Self-Driving Lab）、データプラットフォーム領域は、競争優位を左右する有望分野として急速に存在感を高めつつある。

## ■ マテリアルズ・インフォマティクスの市場概況

MI市場は、学術研究段階を脱し、産業実装およびスケールフェーズへと本格移行している。特に、生成AIによる材料の直接設計や、自律実験（Self-Driving Lab）による研究高速化、大規模データ基盤の整備が進展し、材料開発は「探索」から「目的指向型生成」へと転換しつつある。また、化学・素材メーカーを中心にR&Dプロセスそのもののデジタル化が進み、AIは単なる補助ツールではなく中核基盤として位置づけられ始めた。さらに、脱炭素やサーキュラーエコノミーへの対応が求められる中、MIは環境対応材料の創出を支える戦略技術として重要性を増している。一方で、データ不足やサイロ化、人材不足、導入コストといった課題も顕在化しており、これらの解決が市場拡大の鍵を握る。日本においては国家主導でデータ基盤整備が進むものの、グローバル競争力の強化には産業実装の加速が不可欠である。



## ■ 本レポートの構成

- I. 市場の定義
- II. 市場動向
- III. 市場規模・予測
- IV. マーケットシェア
- V. 参入企業の動向
- VI. 業界構造
- VII. 課題
- VIII. 日本市場の動向



←レポート全編を見る クリック

※本サービスのご利用は、  
SVP会員様限定でございます。

## ■ 購読について/資料ダウンロード・お問い合わせ

本サービスのご利用は、SVP会員様限定でございます。

購読をご希望の場合、当社SVP会員になっていただきますと、定期的に配信する市場調査レポートを全てご購入いただけます。なお、SVP会員は、ビジネス調査に関する、クイックリサーチとプロジェクトリサーチもご利用いただけます。

資料請求



お問い合わせ



## ■ 次回のテーマ

6月のテーマは「グラフェン・メタマテリアル」と「自己修復材料・形状記憶ポリマー」を予定しています。

～SVP注目市場分析レポート更新スケジュール…毎月第1・第3水曜日の発刊を予定～

### [会社概要]

社名 : 株式会社SVPジャパン  
代表取締役 : 橋本 雅  
所在地 : 東京都中央区日本橋蛸殻町1-38-9 宮前ビル2F  
設立年月日 : 1974年7月1日  
事業内容 : 会員制のビジネス情報提供サービス  
URL : <https://www.svpjapan.com/>

### [本プレスリリースに関するお問い合わせ先]

株式会社SVPジャパン DX推進部 デジタルマーケティング課  
[info@svpjapan.com](mailto:info@svpjapan.com)